



裏磐梯の冬の名物

裏磐梯スキー場のリフトを乗り継いでスキー場の最上部に着きました。さあ、スノーシューを履いて歩き始めましょう。雪に埋もれた木々の間をアップダウンしながらしばらく進むと、平らな雪原がみえてきます。ここは銅沼「あかぬま」、強い酸性で五色沼湖沼群の水源のひとつです。沼の上は結氷した厳冬期しか渡ることができません。銅沼の上を先行者の踏み跡を注意深くトレースして歩きます。前方にはもくもくと噴気を上げる火口壁の噴気口がみえ、さらに見上げるとマッターホルンかと思紛う、雪化粧した美しい櫛ヶ峰が姿を現わします。



▲イエローフォール

まだみえないイエローフォールへの期待がどんどん高まっています。銅沼を過ぎて木々がまばらになった斜面をさらに登りつめるとそこには、静かにたたずむイエローフォールがありました。「イエローフォール」は磐梯山の厳寒期しか現れない自然の造形です。火山性の物質が溶けこんだ赤茶色の水が幾重にも凍りつくことで、最大で高さ10m程、幅8m程にも成長する黄金の氷瀑です。しかし暖冬の影響でしょうか、1月に来たときよりも「黄金」ではなく、どちらかと言うと「ホワイトフォール」でした。それでも、太陽の光を受けて磐梯山の火口壁でしっかりと自己主張していました。



▲結氷した銅沼から望む櫛ヶ峰と噴煙

残念ながら今シーズンの見頃の時期は過ぎてしまいましたが、来シーズンはどんな大きさの、そしてどんな色をしたイエローフォールに会えるのか、今からとても楽しみです。

残念ながら今シーズンの見頃の時期は過ぎてしまいましたが、来シーズンはどんな大きさの、そしてどんな色をしたイエローフォールに会えるのか、今からとても楽しみです。

🍀 とっておき！自然発見メモ 🍀

自然解説員が自然のなかでみつけたとっておきの情報をおすそわけします！

2月21日



クロカワゲラの仲間

真っ白な雪の上で動いていたので、余計に目立ちました。あえてこの時期に活動するのは、戦略でしょうか？

3月10日



ミズキの冬芽

冬芽も枝も鮮やかな赤色でした。冬芽もいいですが、やはり花の時期が待ち遠しいです。

3月10日



ミドリシジミの卵

写真中央の白く丸いのが卵で、大きさは約2mmほどです。幼虫の食草であるハンノキの枝についていました。